

(平成29年4月1日現在)

## 庁舎の耐震診断結果について

県の防災拠点施設のうち、以下の3庁舎について、平成28年度に実施した耐震診断結果をお知らせします。

庁舎	所在地	構造/階層	延床面積	建築年	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性	
					Is/Iso	Ctu・Sd
今治	今治市旭町一丁目4-9	RC/4階	3,449.50㎡	昭和44年	<u>0.44</u>	0.26
四国中央	四国中央市三島宮川四丁目6-53	RC/5階	1,982.41㎡	昭和50年	<u>0.50</u>	0.28
久万高原	久万高原町久万571-1	RC/3階	1,325.51㎡	昭和42年	<u>0.51</u>	0.32

### 【耐震指標】

Is 構造体の耐震性能を示す指標(※各階、各方向別に算定し、最小値を採用)

Iso  $E_s \cdot Z \cdot G \cdot U (=0.54)$ を判定指標としている。

Ctu・Sd 主に鉄筋コンクリート造に適用され、終局変形時の水平耐力に係る指標(※各階、各方向別に算定し、最小値を採用)

### 【評価基準】

・地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い Is/Iso < 0.5又はCtu・Sd < 0.135 (0.1125)

・地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある 上下以外

・地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い Is/Iso  $\geq 1.0$ かつCtu・Sd  $\geq 0.27$  (0.2225)

※( )はSRCの場合

(注)震度6強から7に達する大規模地震に対する安全性を評価するものであり、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる恐れや倒壊する恐れは少ないとされている。

(参考)過去に耐震診断を実施した4庁舎の概要

実施年度	庁舎	所在地	構造/階層	延床面積	建築年	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性	
						Is/Iso	Ctu・Sd
H22	本館	松山市一番町四丁目4-2	RC/4階	8,414.27㎡	昭和4年	<u>0.62</u>	0.35
H22	議事堂	松山市一番町四丁目4-2	SRC/4階	8,419.80㎡	昭和57年	<u>0.72</u>	0.28
H22	第二別館	松山市一番町四丁目4-2	RC/6階	7,910.21㎡	昭和41年	<u>0.14</u>	<u>0.04</u>
H24	大洲	大洲市田口甲425-1	RC/3階	1,687.50㎡	昭和40年	<u>0.50</u>	0.28